

看護学会に参加しました

2年生が11月9日に横浜で行われた、第54回日本看護学会学術集会に参加してきました。看護学会は、看護職の実践に基づく学術研究を通じて、看護の質の向上を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的としています。学会参加は、「看護研究の基礎」の授業の一環で行っています。「看護研究の基礎」では、看護研究をもとによりよい看護実践の実現や看護の質向上ができるよう、研究の基礎を学習しています。学会では研究発表を聞き、看護師の看護実践を知ること、新たな考え方や視点を得ることができたようです。現在学習している看護研究の全体像もわかり、対象に応じた個別性のある看護を実践するために、病態生理学や看護技術など学習して実習に臨むという意識が高まりました。また、様々な看護実践を知ること、自分の関心のある分野に気づくことができたり、今後どのような看護をしていきたいかなどを考える機会となりました。



～学会に参加しての学びや感想～

研究発表では、特に大切な部分を取り上げながら発表をしており、限られた時間の中で研究者が伝えたいことを伝える工夫がされていてすごいと感じた。

研究発表を聞いて、知らない用語も多くあったので自分でも調べてみようと思った。

研究発表は、初めて聞いた人にもわかりやすいように工夫されていた点がとても印象に残った。





対象に合わせた看護を行うためには働いてからではなく、学生のうちから、患者さんの個性や強みを把握して関わられるようにしていきたいと思った。

患者視点で研究しているものもあり、患者に寄り添う視点で研究することも大切だと思った。

学会発表をただ聞くだけでなく、参加した人が興味を持ち、意見を積極的に交換することで1人1人が1つの問題に取り組む意識が高まるのだと感じた。



これからの課題や合併症予防についての発表を聞いてとても参考になった。

研究発表を聞いて、今までわからなかったことや疑問を解決することができたので面白かった。

